



2014年(平成26年)10月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ 中浜 勇治

(東京証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2014年6月20日

●目次

PART1 会社の概要	3
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
PART2 2014年10月期第2四半期の連結業績	6
1. 四半期連結損益計算書	7
2. 売上高・四半期純利益の増減要因	8
3. セグメント業績	
●木材事業	9
●ハウス・エコ事業	10
●アミューズメント事業	11
●不動産事業	12
4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結 キャッシュ・フロー計算書	13

PART3 市場環境と取組みの進捗状況	14
●木材事業の市場環境 ①	15
●木材事業の市場環境 ②	16
●木材事業：取組みの進捗状況①	17
●木材事業：取組みの進捗状況②	18
●木材事業：取組みの進捗状況③	19
●ハウス・エコ事業の市場環境	20
●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況	21
●アミューズメント事業の市場環境	22
●アミューズメント事業：取組みの進捗状況	23
PART4 2014年10月期の業績予想	24
1. 連結業績予想(通期)	25
2. 予想配当	26
●本資料お取扱上のご注意	27
●IR担当窓口	28

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	184人(2014年4月末現在)
連結売上高	109億円(2013年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電パネル等の施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様にも利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始(H26.5売却)
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場 (現東京証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始(H26.4停止)
		平成22年2月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始

PART2

2014年10月期第2四半期の連結業績

1. 四半期連結損益計算書

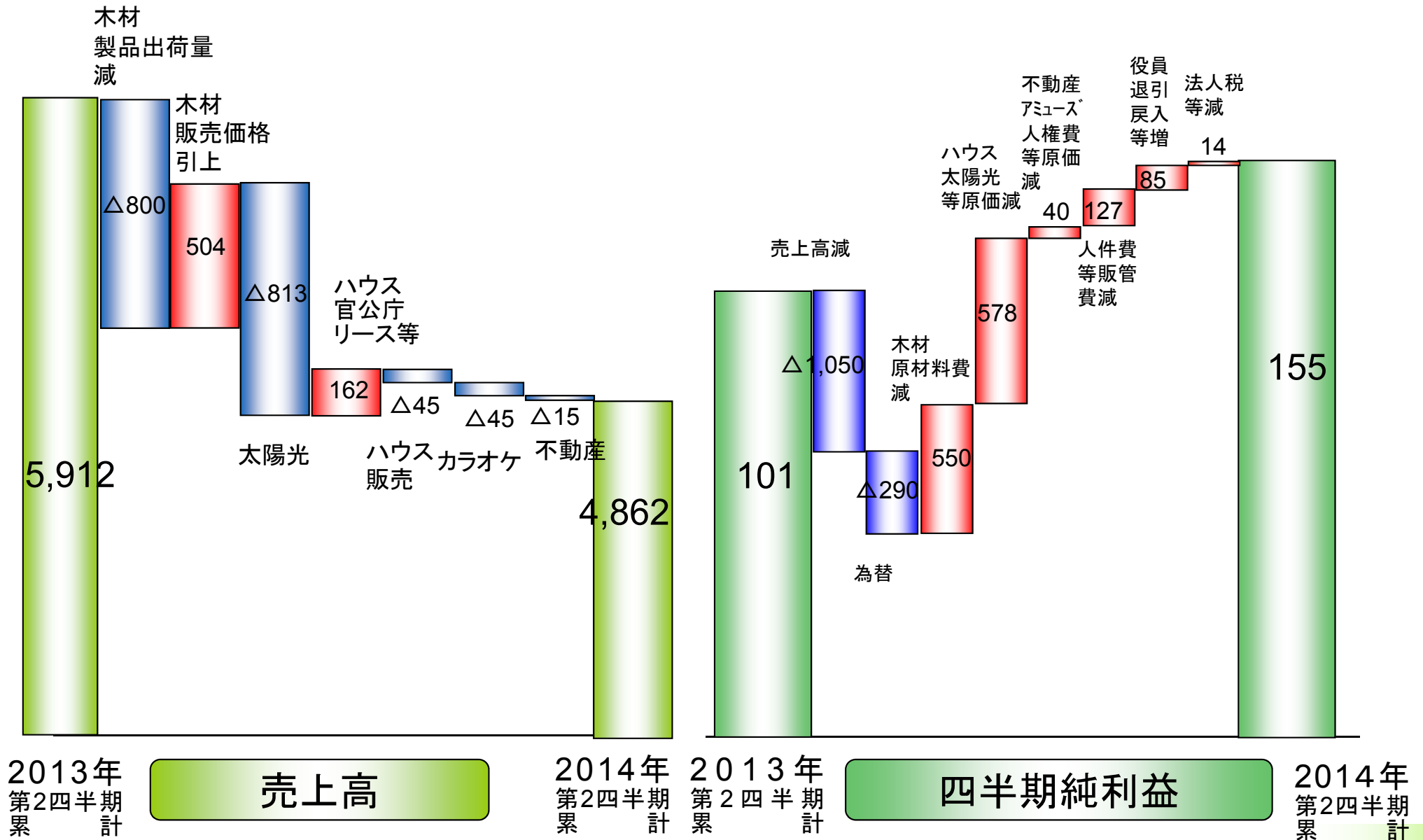
(単位:百万円)

	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	2014年 第2四半期累計 当初業績予想	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比	業績 予想比
売上高	5,912	100.0%	4,944	4,862	100.0%	82.2%	98.3%
売上総利益	851	14.4%	536	679	14.0%	79.8%	126.6%
販売費及び 一般管理費	690	11.7%	570	564	11.6%	81.7%	98.8%
営業利益又は 営業損失(△)	160	2.7%	△34	115	2.4%	71.7%	—
経常利益又は 経常損失(△)	119	2.0%	△72	71	1.5%	59.8%	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	101	1.7%	△78	154	3.2%	152.8%	—
1株当たり 四半期純利益又は 四半期純損失(△)	58.44円	—	△45.54円	89.30円	—	—	—

- 太陽光大型案件の年度末の完工が前年同期比で減少し、減収。
- 姫路工場の操業停止により製品の需給バランスが改善され、製品販売価格が上昇、業績予想比で利益率改善。

2. 売上高・四半期純利益の増減要因

(単位:百万円)

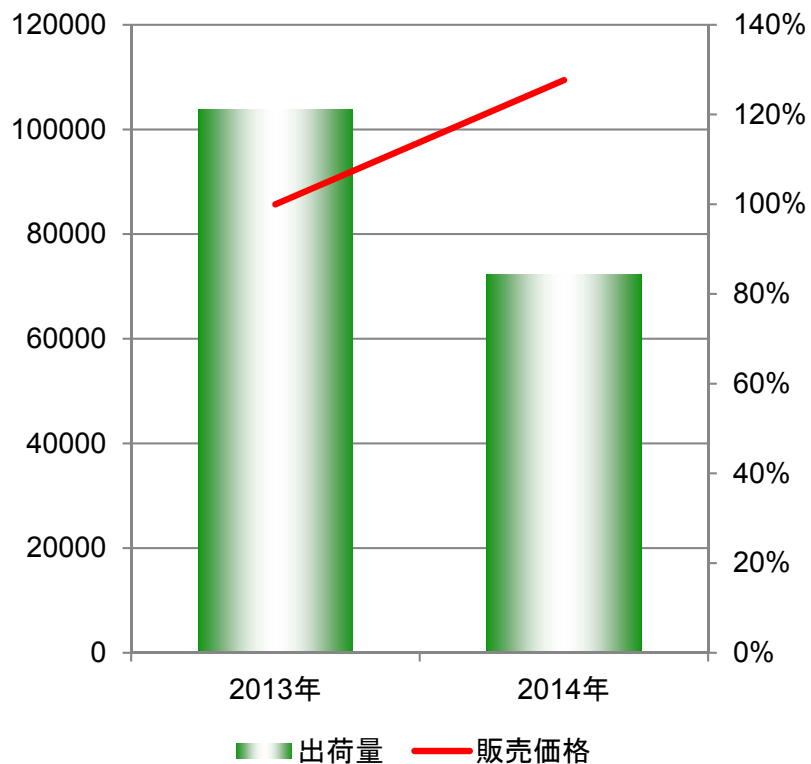


3. セグメント業績

● 木材事業

- 姫路工場の操業停止により、出荷量は前年同期比で30%減少したものの、需給バランスの改善で製品の販売価格は28%上昇
- 原材料コスト単価は上昇するも(前年同期比32.5%上昇)、販売価格上昇及び採算性の高い本社工場への生産のシフトにより、営業黒字化。

■ 出荷量と製品販売価格

 (単位:千m³、%)


■ 木材事業の業績

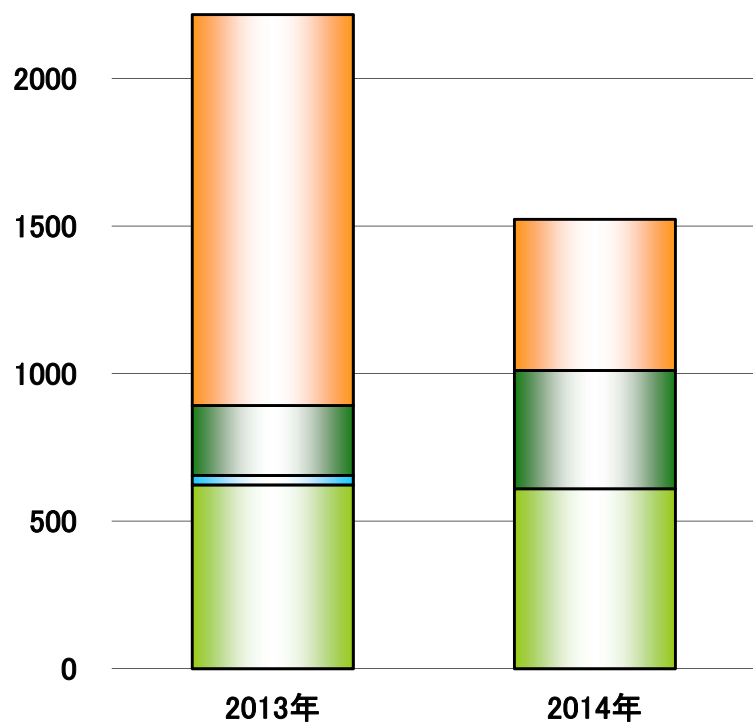
(単位:百万円)

	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	3,247	100.0%	2,951	100.0%	90.9%
営業費用	3,272	100.8%	2,894	98.1%	88.5%
営業利益又は 営業損失(△)	△25	—	56	1.9%	—
平均為替 レート(円)	82.36	—	100.52	—	122.0%

● ハウス・エコ事業

- 太陽光の大型案件の年度末の完工が減少し、減収減益。
- プレハブハウスの官公庁向け賃貸物件が増加。

■ ハウス、太陽光 第2四半期前年同期比売上げ
(百万円)



■ ハウス・エコ事業の業績
(単位:百万円)

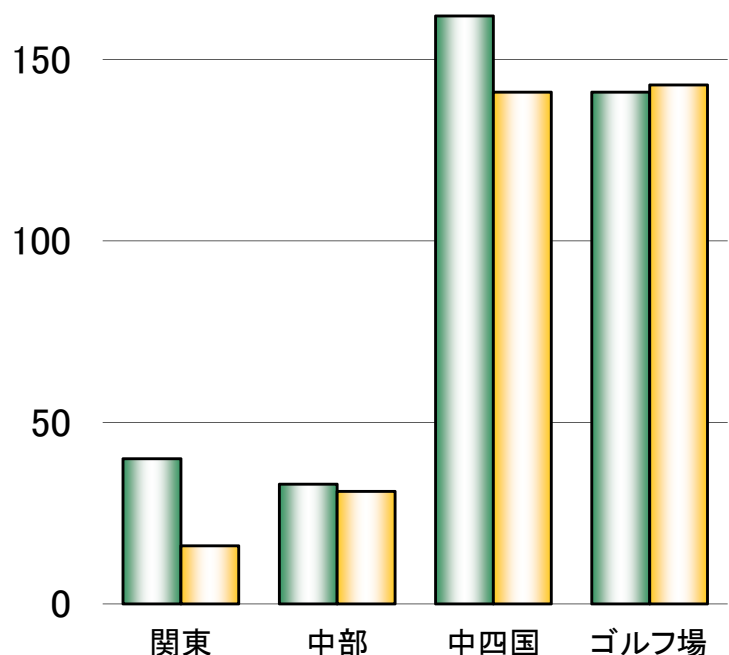
	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	2,216	100.0%	1,522	100.0%	68.7%
営業費用	1,981	89.4%	1,409	92.5%	71.1%
営業利益	235	10.6%	113	7.5%	48.3%

□ハウス一般販売 □ハウス仮設住宅
 □ハウス賃貸 □太陽光

● アミューズメント事業

- カラオケ事業の売上高は後樂園店の営業譲渡等により減少(前年同期比79.9%)、ゴルフ場は天候に恵まれ微増(同比101.6%)
- 後樂園店、宇部店の閉店費用やゴルフ場のコース管理を外部委託したことによる営業費用の増加により、営業損失を計上。

■ 地域別カラオケ店舗及びゴルフ場売上
前年同期比(百万円)



□ 2013年2nd □ 2014年2nd

■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	375	100.0%	331	100.0%	88.1%
営業費用	363	96.6%	333	100.9%	92.0%
営業利益又は 営業損失(△)	12	3.4%	△2	—	—

● 不動産事業

- 賃貸収入は微減(前年同期比94.7%)、売買売上高は、売買の引渡物件が1件(前年同期は2件)であったため減少(前年同期比50.6%)。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2013年 第2四半期 累計実績	百分比	2014年 第2四半期 累計実績	百分比	前年 同期比
売上高	72	100.0%	56	100.0%	78.2%
営業費用	39	54.8%	31	55.9%	79.8%
営業利益	32	45.2%	24	44.1%	76.4%

4. 四半期連結貸借対照表及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書

■要約四半期連結貸借対照表

(百万円)	2013年 第2四半期末	構成比	2014年 第2四半期末	構成比	増減	主な要因
流動資産	6,493	55.5%	4,673	54.8%	△1,820	現預金の増加、売上債権、棚卸資産、前渡金の減少
固定資産	5,211	44.5%	3,853	45.2%	△1,357	姫路工場の減損損失等による減少
資産合計	11,704	100.0%	8,526	100.0%	△3,178	
流動負債	5,588	47.8%	3,889	45.6%	△1,699	短期借入金の減少
固定負債	4,578	39.1%	4,209	49.4%	△369	長期借入金、役員退職慰労引当金の減少
負債合計	10,167	86.9%	8,098	95.0%	△2,068	
純資産	1,537	13.1%	428	5.0%	△1,109	利益剰余金の減少
負債及び純資産合計	11,704	100.0%	8,526	100.0%	△3,178	

■要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2013年 第2四半期	2014年 第2四半期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△618	770	売上債権、棚卸資産の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△13	有形固定資産の売却による収入の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	715	△1,027	短期借入金の減少
現金及び現金同等物の四半期末残高	615	673	

自己資本比率
13.1% 5.0%

有利子負債比率
67.3% 68.9%

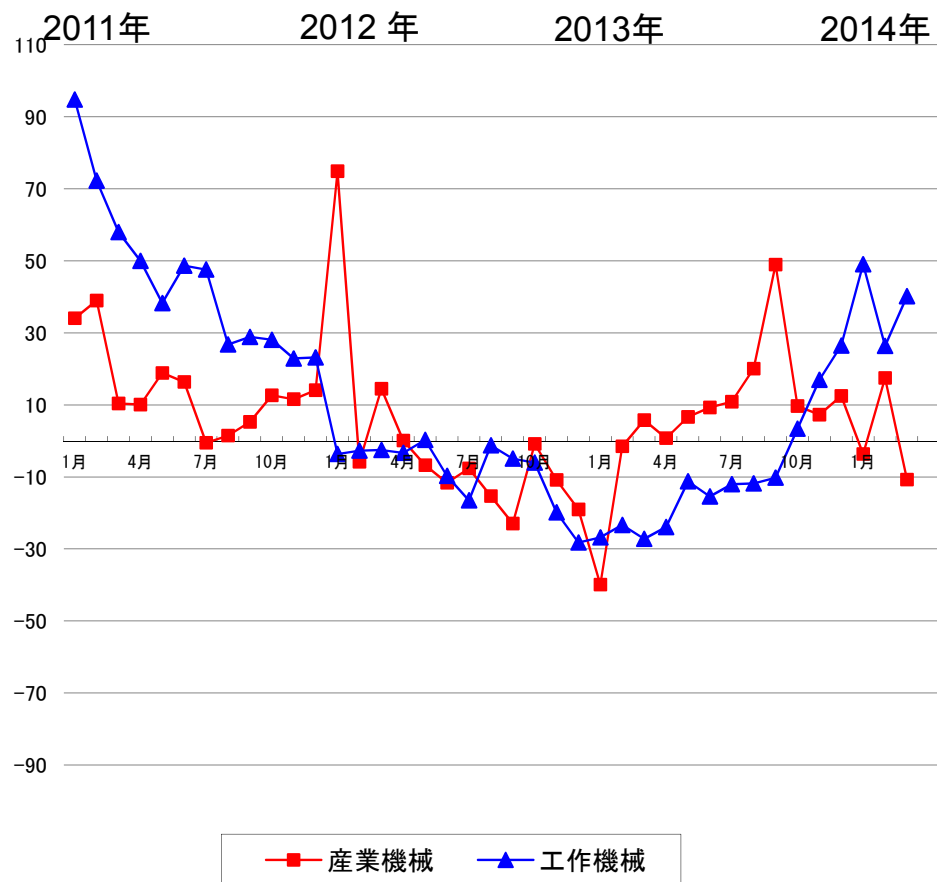
PART3

市場環境と取組みの進捗状況

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

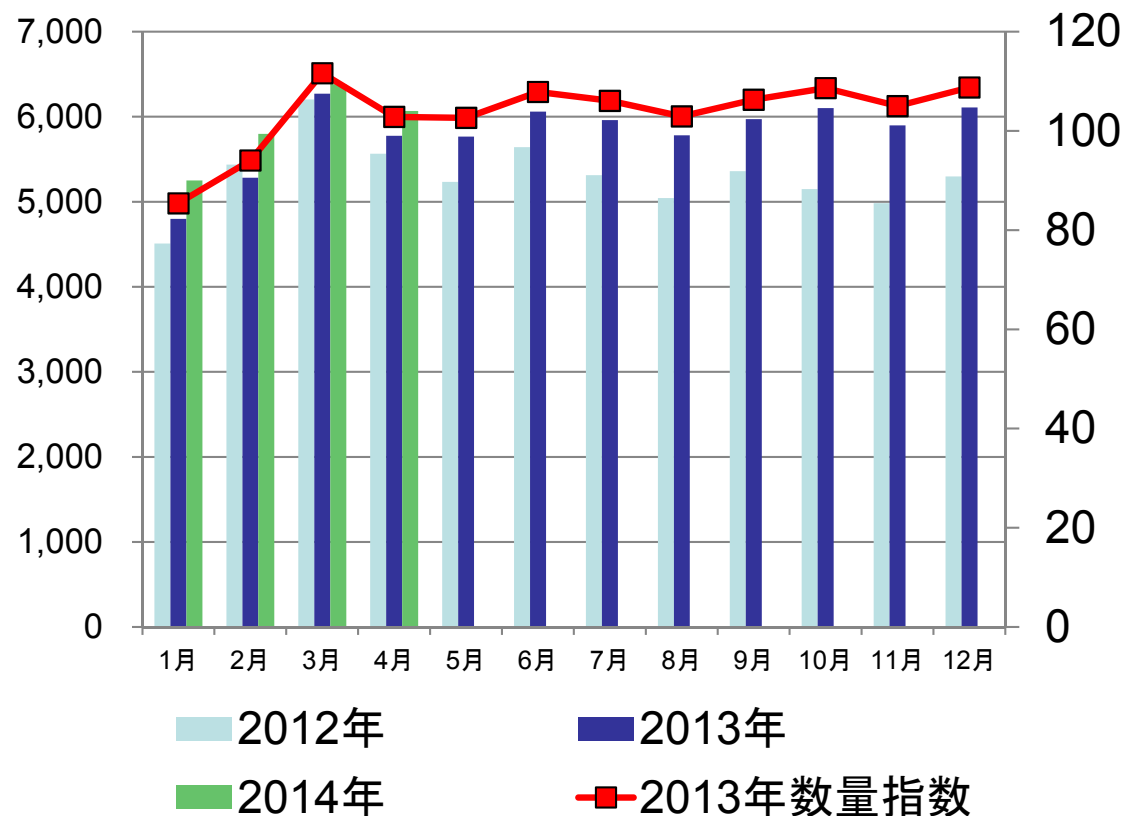
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円)



輸出金額及び輸出数量

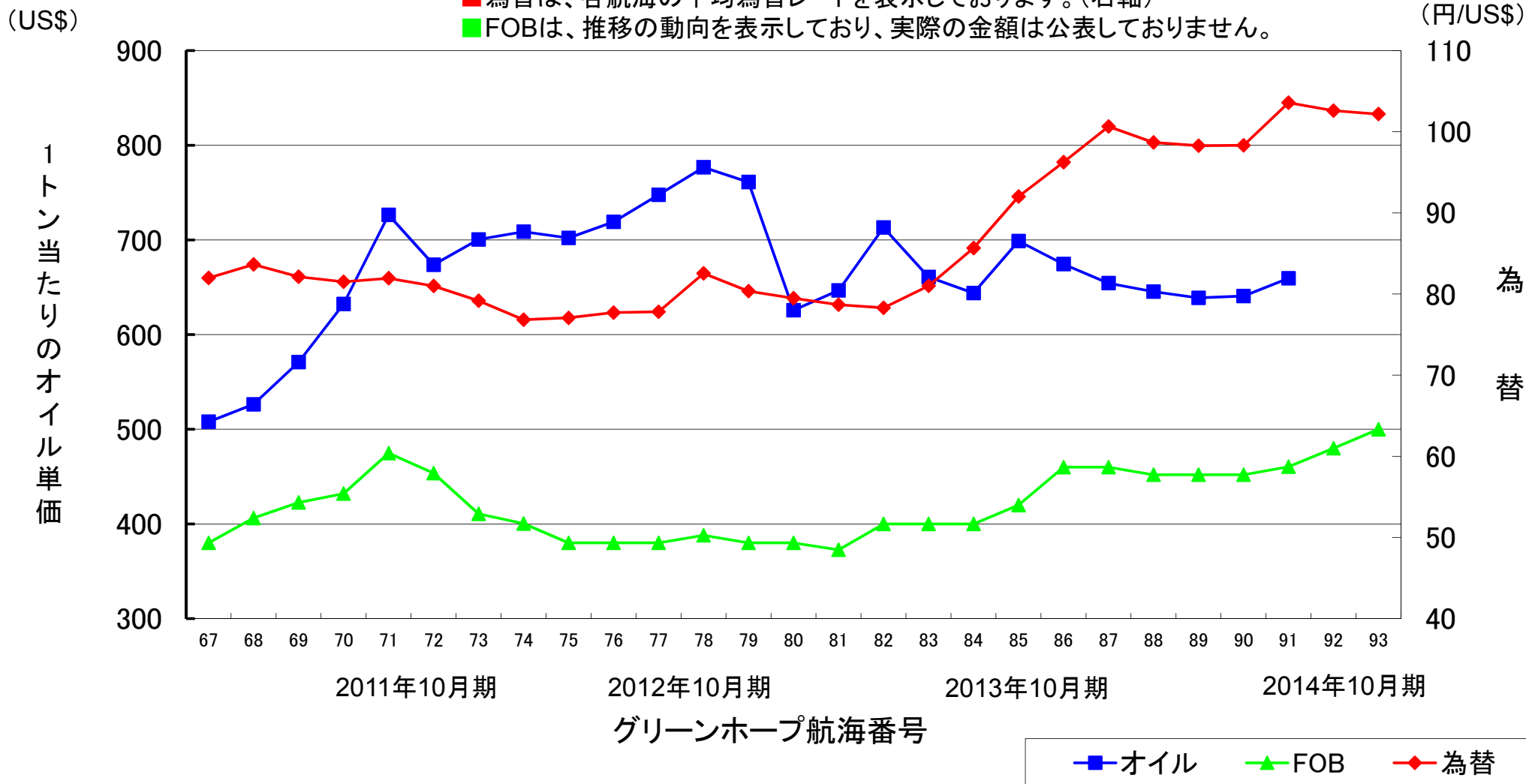
※輸出数量指数は2010年を100とした数値。

- 産業機械・工作機械等の受注は緩やかに回復。輸出は回復傾向。
- 足元の動向は輸出梱包の大型案件が出始めている。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・オイル・FOBの推移

■ オイルは自社船91番航海までの各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



● 為替は100円ドル越えの円安がつづく、オイルは横ばい、FOB価格は最高値圏。

※FOB価格とは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

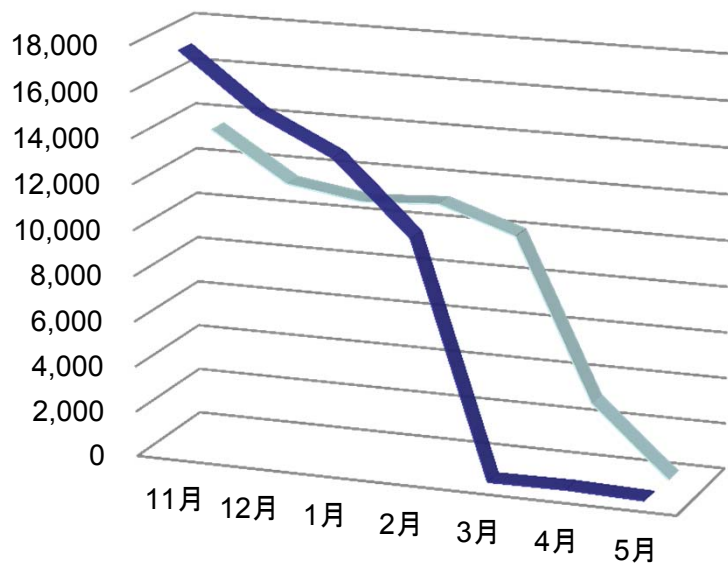
● 木材事業：取組みの進捗状況①

■ 姫路工場の製造ラインを停止し、競争力のある本社工場へ生産を集約

● 姫路工場

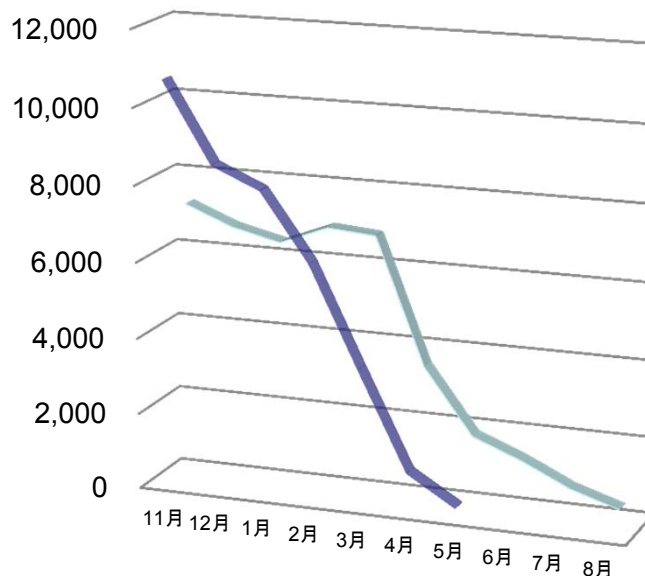
生産を当初見込みより前倒しで行い、2月末でラインを停止。
製品在庫を、年度末の需要期に合わせ適正価格にて販売。

原木消化量(m³)



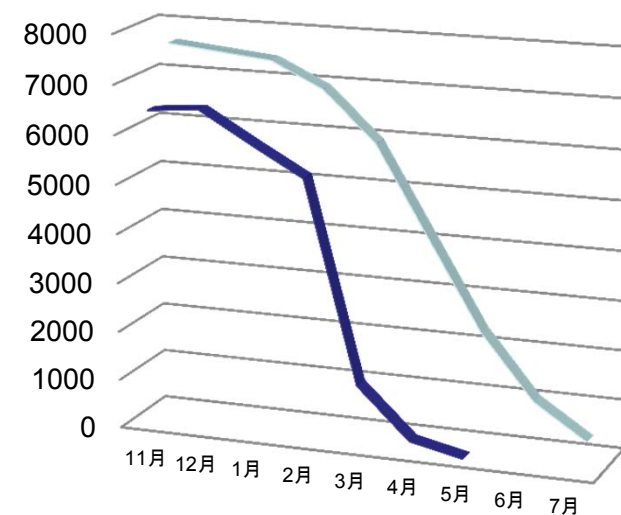
■ 姫路工場 実績 ■ 姫路工場 予算

製品販売量(m³)



■ 姫路工場実績 ■ 姫路工場予算

姫路工場製品在庫(m³)



■ 在庫実績 ■ 在庫予算

● 木材事業：取組みの進捗状況②

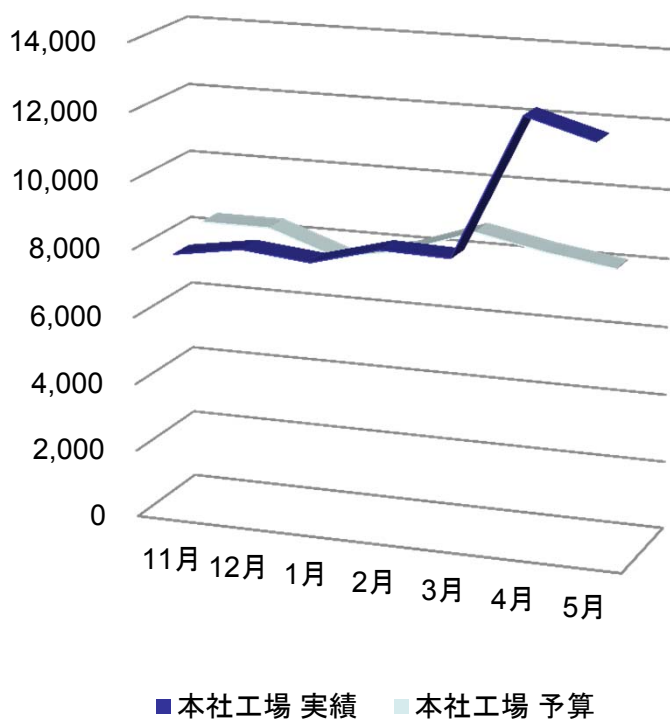
■ 姫路工場の製造ラインを停止し、競争力のある本社工場へ生産を集約

● 本社工場

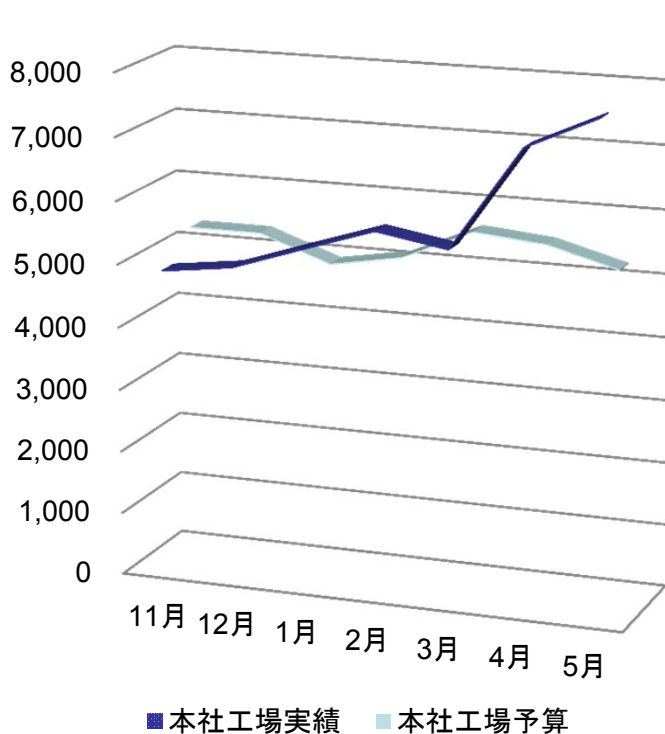
生産設備を改修し、4月より夜間の操業を開始し増産。

需給バランスの改善により5月末製品販売価格は当初見込みから23%上昇。

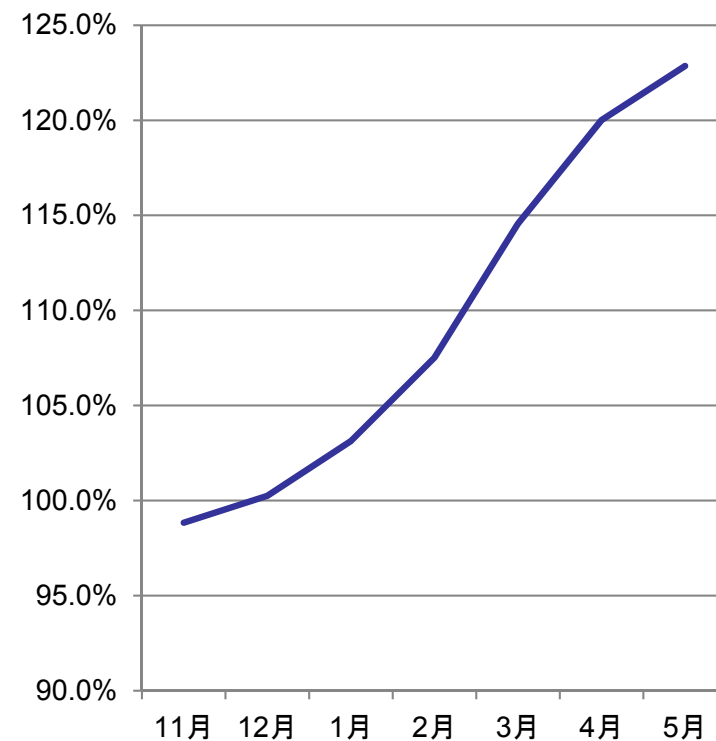
原木消化量(m³)



製品販売量(m³)



製品販売価格(当初見込み比)



●木材事業：取組みの進捗状況③

■遊休資産等の有効活用・売却等により財務のスリム化・健全化

●木材運搬船の売却

5月26日引渡完了

船舶売却代金

当初見込み1,100万米ドル → 1,300万米ドル(平均為替レート約102円/ドル)

●愛知県豊橋市の自社遊休地(東海工場跡地)にて、メガソーラー(2.4メガ)設置を決定。

売電開始予定 2015年夏～

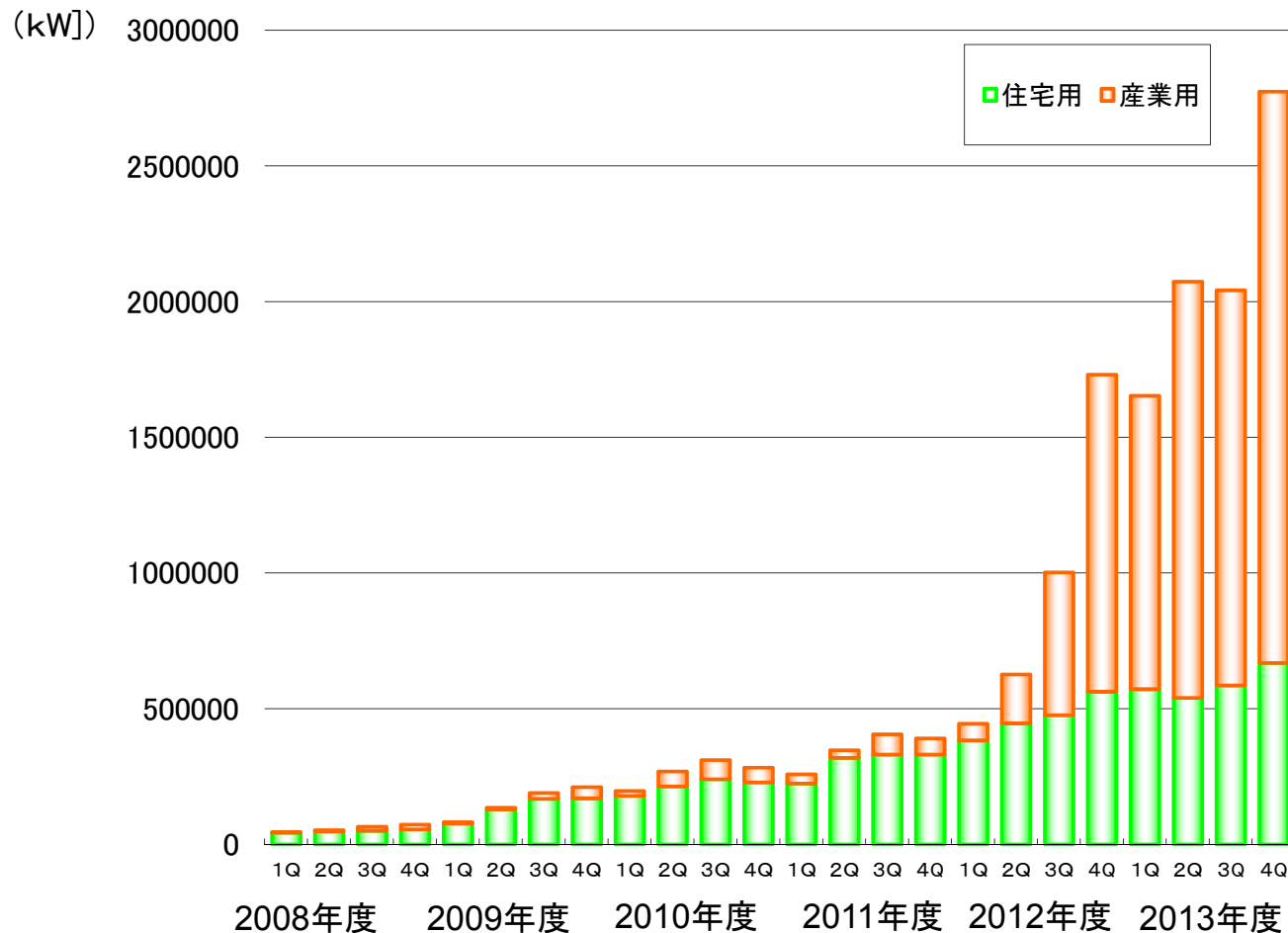
■2015年10月期には木材事業を営業黒字化へ回復させる。

→2014年10月期 第2四半期累計期間において営業黒字化達成。

●ハウス・エコ事業の市場環境

■日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向)

太陽光発電協会調べ



2013年度モジュールの国内出荷量

太陽光発電協会調べ

モジュールの国内出荷量 (MW)

数量(MW)	生産		合計	比率 (%)
	国内	海外		
日本企業	3,517	2,526	6,043	71%
外国企業	214	2,288	2,502	29%
合計	3,731	4,814	8,545	100%
比率 (%)	44%	56%	100%	

- 2013年度の太陽電池の出荷量は、前年同期比で2倍の出荷。
海外製品が56%を占める。

●ハウス・エコ事業：取組みの進捗状況

■産業用太陽光発電システムの販売体制を強化

●営業に経営・管理職も含めた人材資源の投入

木材事業部営業統括部長に経営企画室長を兼任させ、ハウス・エコ事業の営業強化。

■旺盛な建築需要に対応

●プレハブハウス・一般建築の公共工事、民間の設備投資の受注を取り込む。

民間の販売物件は第2四半期累計で、前年同期比ほぼ横ばい。

公共工事の賃貸物件売上は第2四半期累計で、前年同期比69%増。

販売物件の大型案件、公共工事の落札案件等、5月の売上及び受注残で約7億円

■当期の太陽光発電システムの売上高16億円を目指す。

第2四半期累計売上	5億12百万円
-----------	---------

5月の売上及び受注残	7億20百万円
------------	---------

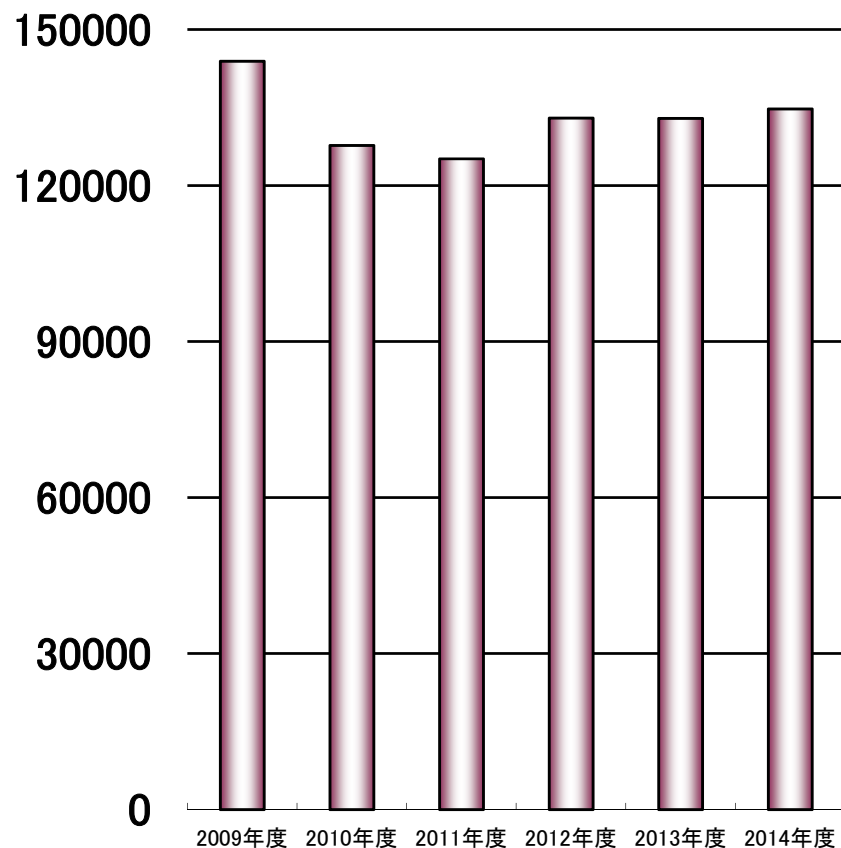
現在商談中の大型案件の期中取り込みを図る。

■稼働及び計画中の自社の発電設備は、豊橋市の2.4メガを含め

合計で 4.3メガワット

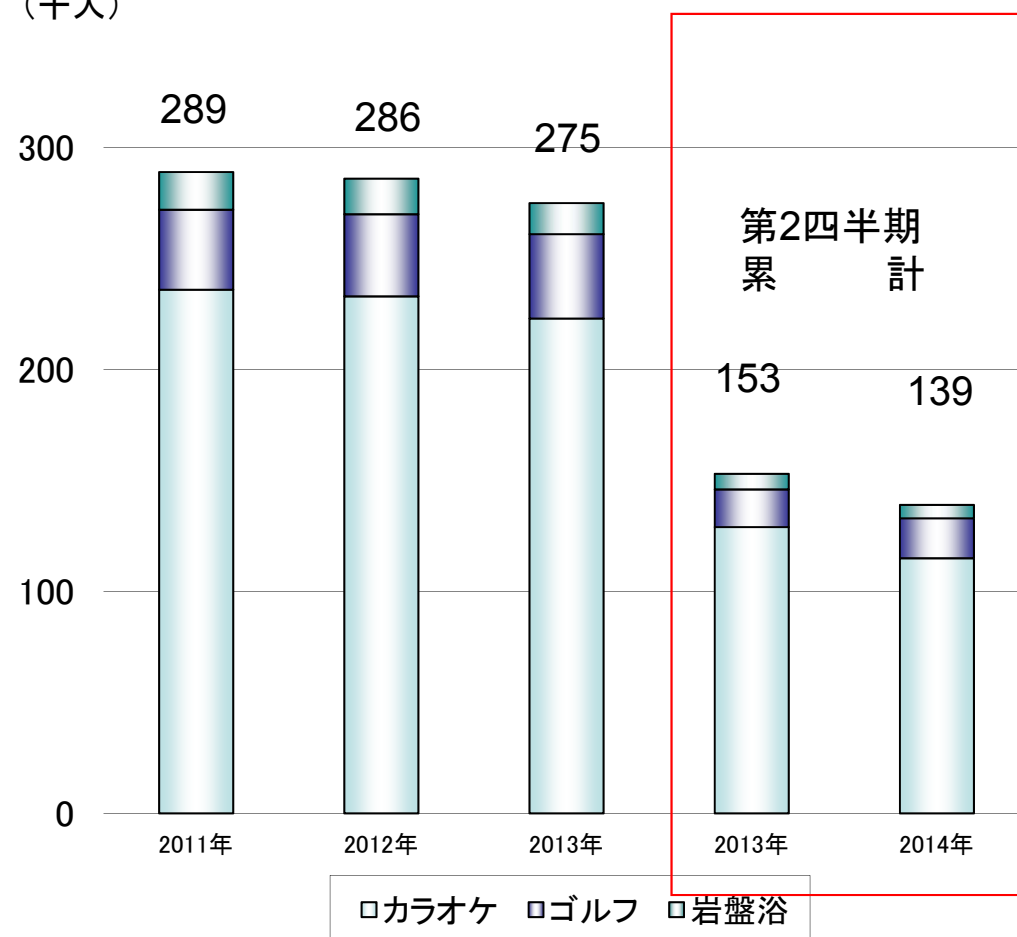
●アミューズメント事業の市場環境

■カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信・決算説明会資料等をもとに、カラオケ事業の売上高及び売上見込の合計を掲載しております。

■当社の既存店の利用者数 (千人)



□カラオケ □ゴルフ □岩盤浴

- カラオケ大手チェーン店は、1社をのぞき増収。
- 当社の利用者数は、ゴルフは微増、カラオケは減少。

●アミューズメント事業：取組みの進捗状況

■サービスの基本教育の徹底

- 接客、清掃、基本オペレーション業務の徹底教育によるサービスの向上

店舗スタッフが接客資格試験を受験。

結果を待遇に反映させ、スタッフのモチベーションの向上とサービスの改善を図る。

■既存店舗の収益力の向上

- 全社統一イベントの定期的な企画と実施

ファミリー向けの子供アニメコスプレ衣装の写真撮影

お客様とスタッフが一緒に出演するダンス動画を作成しSNSで公開

くまモンルーム、コココーラテーマルーム等の設置

- 不採算店舗の閉鎖による収益性の改善

後樂園店の営業譲渡 1月

宇部店閉店 5月

くまモンと一緒に！ くまモンルーム誕生 コスプレもあるので一緒に写真撮影しませんか？



PART4

2014年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2013年	百分比	2014年	百分比	前期比
売上高	10,989	100.0%	8,691	100.0%	79.1%
売上総利益	1,302	11.9%	951	11.0%	73.1%
販売費及び一般管理費	1,285	11.7%	1,031	11.9%	80.2%
営業利益又は損失(△)	16	0.2%	△79	—	—
経常損失	△58	—	△176	—	—
当期純利益又は損失(△)	△1,153	—	114	6.6%	—
1株当たり当期純利益 又は損失(△)	△666.22円		66.15円	—	—

- 姫路工場の操業停止等一連のリストラ効果により収益性の改善が大きく見込まれるが、今後の市場動向等慎重に見極め保守的にとらえて、業績見込みは据え置き。

4. 予想配当

	期末配当	配当性向
2013年 10月期	無 配	—
2014年 10月期	無 配	—

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス

総務部 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>